

令和7年度 中国四国地方農福連携オンラインセミナー

# 誰もが働ける・活躍できる場の構築

2025年12月17日（水）

一般社団法人 THE CHALLENGED

代表理事 山内 朋子



# 地域共生社会と農福連携

## 地域共生社会とは・・・

将来的に日本の社会全体で実現していこうとする **社会全体のビジョン**

- 年齢や性別・障がい等の有無などにかかわらず、すべての人が自分らしく幸せに暮らすことのできる社会
- 様々な 困難を持つあらゆる人 を地域で支えるための仕組み
- 農業や福祉、地域再生などの各方面の仕組みを束ねて、地域で「共生社会」の実現を目指す
- 「農福連携等推進ビジョン」のなかでも地域共生社会構想に呼応して「福」の広がりが打ち出されている
- 「高齢者、生活困窮者、ひきこもりの状態にあるなどの働きづらさや生きづらさを感じている人の就労・社会参画の機会の確保や、犯罪や非行をした人の立ち直りに向けた取組」が、地域の実情に即して推進されることになっている

# 地域共生社会と農福連携

## 農福連携とは・・・

地域において農業と福祉の双方が「W i n ・ W i n」の関係 を構築 するという取組

農福連携の声が高まってきた背景には、農業・福祉、双方が抱える諸問題と、それを解決しようとするニーズがある

### （農業分野 が抱える課題）

農業における一番の課題は…

#### 農業従事者の大幅な減少

- 農業を支える基幹的農業従事者は、年々高齢化が進行

- 農業分野で担い手や労働力の確保は喫緊の課題であり、農福連携を通じて障がい者等の農業への参画が促進されれば、現場における貴重な働き手となることが期待される

### （福祉分野 が抱える課題）

福祉分野の抱える重要な課題は…

#### 障がい者等の就労

- 自立し、生活していくためには、就労して収入を得ていくと同時に、社会生活に参加し、交流していく必要がある

- 農福連携は、農業を通じた障がい者等の働く場の確保やそこで働く障がい者等の賃金・工賃の向上に加え、体力や社会性の向上、地域との交流の促進等、生活の質の向上が期待される重要な取組

# 障がい者の働き方

- 
- |   |                |  |
|---|----------------|--|
| 1 | 一般就労           | ● 一般企業と雇用契約を結んで働く。障がい者枠での採用等もある                                |
| 2 | 就労移行支援事業所での訓練  | ● 一般就労を目指し、就労に必要な知識・能力向上の訓練や求職活動への支援を受ける                       |
| 3 | 就労継続支援A型事業所で働く | ● 一般就労は難しいがA型事業所と雇用契約を結び、支援を受けながら最低賃金以上の賃金をもらって働く（労基法、最低賃金法適用） |
| 4 | 就労継続支援B型事業所で働く | ● 一般就労やA型が難しい人が雇用契約を結ばずに、支援を受けながら工賃をもらって働く                     |
| 5 | 生活介護等の事業所での活動  | ● 入浴、排せつ、食事等の介護を受けながら、創作活動や生産活動を行う                             |
-

# 農福連携の主な4つの形態

- 
- |   |                               |  |
|---|-------------------------------|--|
| 1 | 農業者による障がい者の一般雇用（一般就労）         | <ul style="list-style-type: none"><li>● 農業者が障がい者を正社員やパート社員として直接雇用する</li></ul>  |
| 2 | 農業者と障がい者就労支援施設との農作業受委託（施設外就労） | <ul style="list-style-type: none"><li>● 農業者と就労系障がい福祉サービス事業所の設置・運営法人が、農作業に関する請負契約を締結し、施設利用者(障がい者)と職業指導員のユニットが農業者の圃場で作業する</li><li>● 作業を事業所内に持ち込む</li></ul> |
| 3 | 障がい者就労支援施設の農業参入               | <ul style="list-style-type: none"><li>● 就労系障がい福祉サービス事業所が自ら農地を確保して単独で農業を行う</li><li>● 就労系障がい福祉サービス事業所の設置・運営法人が農業法人を併設し農作業を行う</li></ul>                     |
| 4 | 農業者による障がい者就労支援施設の開設           | <ul style="list-style-type: none"><li>● 農業者が就労系障がい福祉サービス事業所及びその設置・運営法人を併設</li></ul>  |
-

# 法人概要

## History

法人名称 一般社団法人 THE CHALLENGED

所在地 福岡県久留米市

設立 2012年3月

代表者 代表理事 山内 朋子

事業内容 障害福祉サービス事業

- ・ 就労継続支援A型
- ・ 就労継続支援B型

障害児通所支援事業

- ・ 児童発達支援
- ・ 放課後等デイサービス

農業（認定農業者）

社会貢献活動 更生保護協力雇用主

職員数 24名

2010

農業を法人化

- ◆ 更生保護対象者の受け入れ

2012

一般社団法人 THE CHALLENGED 設立

- ◆ 就労継続支援A型「K'sファーム」開所（久留米市）

2013

法務省保護局が所管する協力雇用主に登録

2017

法人の従たる事業所設置（佐賀県）

- ◆ 児童発達支援「キッズガーデンSeeds」開所
- ◆ 放課後等デイサービス「キッズガーデンSeeds」（併設）

2018

認定農業者取得

- ◆ 就労継続支援B型「K's bee」開所（久留米市）
- ◆ 就労継続支援A型「K'sファーム あさくら」開所（朝倉市）
- ◆ 就労継続支援A型久留米事業所と朝倉事業所を統合

2023

ノウフクアワード2023 準グランプリ「地域を耕す」受賞

# 誰もが共に働き、共に支えあえる社会の実現に向けて



農業を通してソーシャルインクルージョンを実現し、THE CHALLENGED  
(挑戦という使命や課題、挑戦するチャンスを与えられた人)として農業の未来に挑戦し続ける

- ◆ 誰もが地域で自立し、働く意欲と能力を発揮し、生き甲斐をもった社会生活を送るために「働くこと」を支え、「働くこと」で「やりがい」を感じ、収入を得て「自立」をめざすための支援を行う
- ◆ 福祉と農業の連携を図り、障がいがあろうとなかろうと、誇りとやりがいの持てる職場として、農業に従事できる環境と機会を創造していくことを目的とする